

姉妹都市提携5周年

堀尾氏が繋ぐ大田町と松江市 2



堀尾氏が開いた松江市
— 歴史・文化・自然・産業 —

北に日本海、中央部に中海・穴道湖、南には中国山地につながる山々という自然に恵まれ、また、悠々の歴史と多くの文化、観光資源を持つ松江市。人口は20万1000人で山陰一です。

神代かみよの昔から続く風習や文化、堀尾吉晴公が築いた松江城や城下町、そして自然の恩恵を受けた観光資源を、松江市は世界に向けて発信し続け、国際文化観光都市として、一層魅

力のある都市へと発展し続けています。

大田町と島根県松江市は、松江城を築城し松江開府の祖とされる大名・堀尾吉晴公の生誕地が大田町という縁で、平成27年8月29日に姉妹都市提携を結び、今年で5周年を迎えます。400有余年にわたるご縁を受け継ぎ、両市町の産業、歴史、文化、教育など幅広い分野で友好と親善を深め、官民を超えたさらなる発展を目的に、さまざまな交流事業が始まりました。

今月号は、松江市と姉妹都市提携後に始まった交流事業を紹介します。



松江だんだん夏踊り ×

やろ舞い大祭

平成28年8月に、大町町の職員研修の一環として、松江市との交流と大町町をPRするため、松江だんだん夏踊りに参加したのが始まりです。

現在では、お互いの祭りにチームで行ききするなど、住民同士の交流に発展しています。

初回から参加しているやろ舞いプロジェクトの吉田さんは「松江を訪れ「大町町から来た」というと、どこへ寄ってもあたたかく歓迎してくれます。踊りをとおして、人との結びつきが深まってきています。これ

も縁ですね。こんな道すじを作ってもらえて感謝しています。これからも続けていきたい」と想いを話されました。



第18回 やろ舞い大祭



松江だんだん夏踊り

「踊りが結ぶご縁の輪」をテーマにさまざまな踊りチームが参加する、松江市の夏恒例のイベント。国宝松江城の石垣をバックにした馬溜特設ステージでは、踊り手が約8時間に渡って、華麗な演舞を披露します。松江夜曲、よさこい、音頭や小唄踊りや歌もさまざまなジャンルが集います。ステージ周辺には「お城のビアガーデン」飲食ブースもありグルメも楽しめます。

松江水燈路 ×

おおぐち光燈路

平成28年から松江水燈路に展示する作品を募集する事業が始まりました。この事業は、たくさんの方のあかりのアートが松江城やその周辺を照らす美しい松江水燈路に「大町町の皆さんの作品も出せないか」と松江市に問い合わせたのがきっかけで始まりました。初回は529作品(130基)が集まり、松江の夜を彩りました。

この年、行灯設置撤収ボランティアとして現地へ行った4名の作品出品者が松江水燈路に魅了され、「大町町でもこのすばらしさを伝えたい」と、大町町NPO団体『チーム

GOGO大町』を立ち上げ、五条川の桜の開花に合わせて、堀尾跡公園で「おおぐち光燈路」が始まりました。



おおぐち光燈路（堀尾跡公園）



松江水燈路

10月は一般的に神無月ですが、全国の神様が出雲大社に集まる島根県では神在月といわれています。その神在月に、松江城や塩見縄手周辺に多くの行灯が並べられ、城下町松江ならではの光と影が織りなす幻想的な風景を楽しむことができます。水燈路メイン開催日は、堀川遊覧船が夜間運航され、お堀端の行燈や情緒的な塩見縄手のライトアップを船上から楽しめます。

まつえ食まつり ×

(株)大和屋守口漬総本家

大口町と松江市の姉妹都市提携が縁で、町内に工場がある大和屋守口漬総本家が、漬物用に松江市東出雲町上意東の筍を仕入れることになりました。

同社は島根県のイベントや、まつえ食まつりに出店した大口町PRブースにも参加。令和元年には、東出雲町上意東筍生産組合が粕漬の生産工程を見学するため、大口工場を訪問するなど交流を続けてきました。そして昨年、国の農工商連携事業



まつえ食まつり

松江を中心とする山陰地方の冬の味覚を楽しむ「まつえ食まつり」は、JR松江駅前周辺や天神町商店街、タテ町商店街、カラコロ工房などさまざまな会場で毎年おこなわれるイベントです。

「食まつり暖談ごちそう市場」では数多くの地元グルメの販売をおこなう屋台が立ち並ぶほか、市内のホテルや飲食店、蔵元、お茶、生和菓子などさまざまな飲食店が出店する人気のイベントです。



の認定を受け、筍を使った煮物が商品化され、今年7月に新商品「粕炊き竹の子煮」として店頭販売することになりました。400年のご縁を受け継いで生まれた「粕炊き竹の子煮」は大口工場でも購入できます。

堀尾氏三代がつないだ縁は、姉妹都市提携により一層強く結ばれ、未来につながる新たな縁に生まれ変わっています。この縁を地域の発展につなげていけたら…、素敵ですね。今後もありあるご縁が生まれることを楽しみにしています。

町でPR資料を作り、NHKの大河ドラマの放映を目指す他、自治体のさらなる交流を図っています。国宝松江城マラソン(松江市) 国宝松江城マラソン2018から参加。松江市総合体育館をスタートし、松江城、宍道湖、中海を廻る42・195kmのコースを完走。

ふれあいまつり(大口町)

松江市が観光PR、特産品の出展をしました。

松江市民レガッタ(松江市)

姉妹都市交流の一環として大会に参加。会場は宍道湖から中海につながる大橋川の特設コース、大口町はミックス(男女混合のチーム)で出場。

松江武者行列(松江市)

松江開府の祖、堀尾吉晴公とその一行が入城する様子を再現した松江武者行列に北・中・南地域自治組織の皆さんが参加しました。

共創・協働マーケット(松江市)

市民団体、企業、行政などが、アイデアや課題を話し合う交流の場に参加。

サッカー大会交流(大口町・松江市)

松江市で開催されたサッカー大会にウィル大口スポーツクラブサッカーチームが参加。翌年は両チームがお互いの地を訪問し親睦を深めました。

人事交流事業(大口町・松江市)

お互いの職員を派遣。松江市からは企業誘致関係の事務に従事。大口町からは観光事業の運営などに携わりました。

堀尾吉晴公共共同研究会

(大口町・松江市・安来市)

平成29年に設立。堀尾吉晴公の生涯を明らかにすることを目的に調査・研究を進め、松江市・安来市・大口

金助桜まつり(大口町)

平成28年4月は姉妹都市提携記念として、松江市長はじめ、松江城鉄炮隊など多くの方が来町され、桜(エドヒガン)の記念植樹もおこなわれました。